

(3)原材料（仕入）価格

～「上昇」超が続くも、縮小傾向にある～

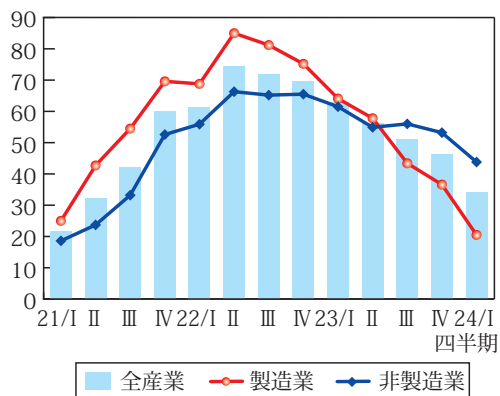
	23/Ⅲ	23/Ⅳ(10-12月)		24/Ⅰ
	実績	前回予測	実績	見通し
上昇	53.2	(42.8)	47.4	36.3
横ばい	44.7	(55.3)	51.5	61.6
低下	2.1	(1.9)	1.1	2.1
全産業DI	51.1	(40.9)	46.3	34.2
製造業DI	43.4	(32.7)	36.6	20.5
食料品	40.0	(35.0)	33.4	4.8
繊維	100.0	(71.4)	33.3	0.0
木材木製品	0.0	(△12.5)	0.0	0.0
窯業土石	71.4	(28.6)	20.0	20.0
電気機器	60.0	(53.3)	46.2	23.1
輸送機器	26.1	(26.1)	29.2	20.8
金属製品	31.2	(28.1)	33.3	20.8
一般機械	66.7	(46.7)	43.8	31.3
その他	43.9	(29.3)	44.2	27.9
非製造業DI	56.0	(46.2)	53.2	43.8
卸売業	57.7	(42.4)	47.9	39.6
小売業	68.4	(65.8)	61.3	58.1
建設業	53.7	(42.1)	54.3	45.7
サービス	52.1	(43.8)	52.0	38.7

(4)採算

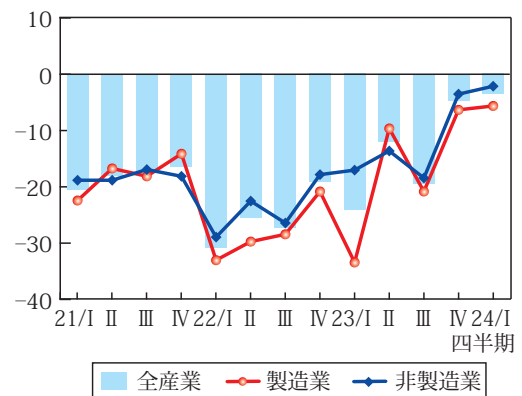
～「悪化」超幅が縮小する～

	23/Ⅲ	23/Ⅳ(10-12月)		24/Ⅰ
	実績	前回予測	実績	見通し
好転	8.4	(9.4)	12.5	10.2
変わらず	63.7	(70.5)	70.3	76.0
悪化	27.9	(20.1)	17.2	13.8
全産業DI	△19.5	(△10.7)	△4.7	△3.6
製造業DI	△20.9	(△7.2)	△6.4	△5.7
食料品	△36.8	(15.8)	△4.8	△4.7
繊維	△16.6	(△33.3)	△50.0	△50.0
木材木製品	0.0	(△12.5)	0.0	△25.0
窯業土石	0.0	(0.0)	20.0	△20.0
電気機器	△53.3	(△13.3)	0.0	7.7
輸送機器	△17.4	(△4.4)	4.1	0.0
金属製品	△31.2	(△3.1)	△33.4	△12.5
一般機械	△13.4	(△13.3)	6.2	6.2
その他	△7.1	(△14.2)	△2.3	△4.7
非製造業DI	△18.5	(△13.1)	△3.6	△2.2
卸売業	△22.2	(△18.5)	△10.2	△12.3
小売業	△28.9	(△7.9)	0.0	3.3
建設業	△14.5	(△17.4)	△8.6	△4.3
サービス	△15.1	(△9.1)	3.9	3.9

● 図表 2-3 原材料(仕入)価格DI推移(24/Ⅰは見通し)



● 図表 2-4 採算DI推移(24/Ⅰは見通し)



[23年10～12月期]

○製造業

ほとんどの業種で「上昇」超となったが、全体では「上昇」超幅は縮小した。

○非製造業

すべての業種で「上昇」超となった。小売業のうち、石油製品販売はガソリン補助金の拡充で「上昇」超幅が大幅に縮小した。

[23年10～12月期]

○製造業

輸送機器、一般機械で「好転」超に転じた。全体でも「悪化」超幅が縮小した。

○非製造業

サービス業が「好転」超に転じた。全体でも「悪化」超幅が縮小した。

(5)設備投資

～僅少な「減少」超が続く～

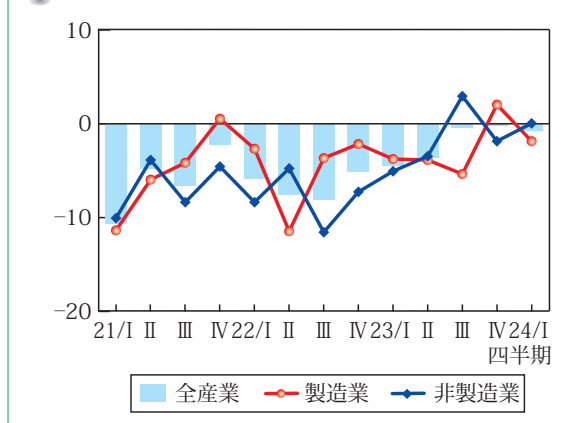
	23/Ⅲ	23/Ⅳ(10-12月)		24/Ⅰ
	実績	前回予測	実績	見通し
増加	11.4	(10.2)	13.4	11.6
横ばい	76.7	(78.1)	72.9	76.0
減少	11.9	(11.7)	13.7	12.4
全産業DI	△0.5	(△1.5)	△0.3	△0.8
製造業DI	△5.4	(△3.6)	2.0	△1.9
食料品	21.1	(0.0)	4.8	4.8
繊維	△42.8	(△28.6)	0.0	△16.6
木材木製品	△12.5	(△12.5)	△25.0	△25.0
窯業土石	0.0	(0.0)	20.0	0.0
電気機器	△13.3	(6.6)	25.0	△8.3
輸送機器	△8.7	(△8.7)	8.4	△8.3
金属製品	0.0	(△9.7)	△4.4	4.3
一般機械	△6.7	(0.0)	△12.5	△18.8
その他	△9.6	(2.4)	0.0	6.9
非製造業DI	2.9	(0.0)	△1.9	0.0
卸売業	2.1	(10.4)	△2.1	0.0
小売業	5.6	(5.5)	16.7	6.6
建設業	0.0	(△7.3)	△16.2	△4.4
サービス	4.3	(△2.1)	4.1	1.4

(6)資金繰り

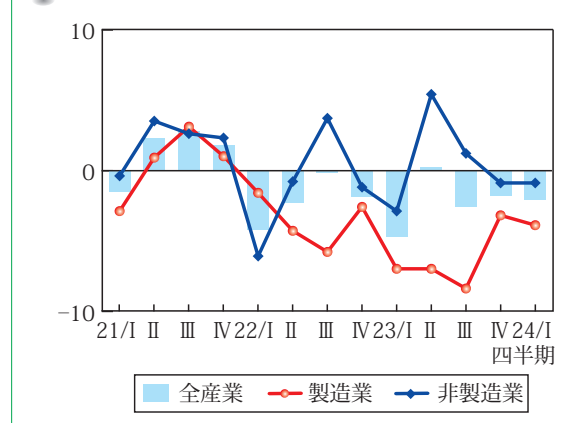
～8割が「普通」～

	23/Ⅲ	23/Ⅳ(10-12月)		24/Ⅰ
	実績	前回予測	実績	見通し
余裕	8.9	(8.5)	9.2	8.9
普通	79.6	(80.2)	79.8	80.1
窮屈	11.5	(11.3)	11.0	11.0
全産業DI	△2.6	(△2.8)	△1.8	△2.1
製造業DI	△8.4	(△6.6)	△3.2	△3.9
食料品	△25.0	(△15.0)	0.0	△4.8
繊維	△33.3	(△33.3)	△28.6	△42.9
木材木製品	0.0	(0.0)	0.0	0.0
窯業土石	△28.6	(△28.6)	0.0	0.0
電気機器	△6.6	(0.0)	△7.7	0.0
輸送機器	△13.0	(△21.7)	8.4	4.2
金属製品	△12.9	(△6.4)	△17.4	△17.4
一般機械	0.0	(0.0)	0.0	0.0
その他	7.2	(7.2)	0.0	2.4
非製造業DI	1.2	(△0.4)	△0.9	△0.9
卸売業	△3.7	(△5.6)	△2.1	△4.2
小売業	△5.2	(△7.9)	△9.4	△3.1
建設業	7.5	(1.5)	4.4	3.0
サービス	2.0	(4.0)	△1.3	△1.3

● 図表2-5 設備投資DI推移(24/Ⅰは見通し)



● 図表2-6 資金繰りDI推移(24/Ⅰは見通し)



[23年10～12月期]

○製造業

電気機器と輸送機器が「増加」超に転じ、全体でも「増加」超に転じた。

○非製造業

サービス業や店舗新設の動きがあった小売業で「増加」超が続いた。全体では「減少」超に転じた。

[23年10～12月期]

○製造業

輸送機器で「余裕」超に転じた。全体では「窮屈」超幅が縮小した。

○非製造業

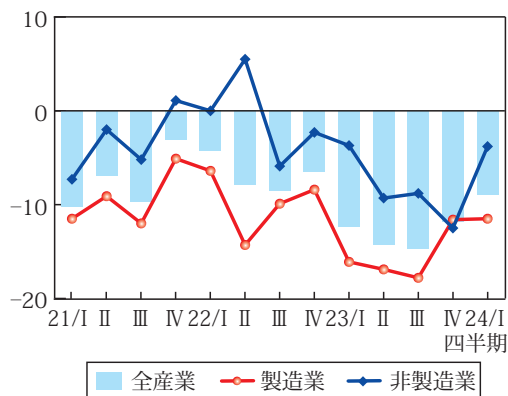
建設業を除く業種で「窮屈」超となり、全体でも「窮屈」超に転じた。

(7)在庫水準

～「過剰」超が続く～

	23/Ⅲ	23/Ⅳ(10-12月)		24/Ⅰ
	実績	前回予測	実績	見通し
不足	4.6	(4.2)	4.7	3.4
適正	76.1	(81.5)	78.8	84.3
過剰	19.3	(14.3)	16.5	12.3
全産業DI	△14.7	(△10.1)	△ 11.8	△8.9
製造業DI	△17.8	(△12.5)	△ 11.6	△11.5
食料品	△20.0	(△5.0)	△ 19.0	△9.5
繊維	△33.3	(△16.7)	14.3	14.3
木材木製品	△12.5	(△12.5)	△ 25.0	△25.0
窯業土石	△14.3	(△14.3)	20.0	0.0
電気機器	△53.3	(△33.3)	△ 38.5	△38.5
輸送機器	△13.0	(△4.3)	△ 4.2	△4.2
金属製品	0.0	(△6.3)	4.2	△12.5
一般機械	△20.0	(△13.3)	△ 18.7	△6.2
その他	△19.0	(△16.6)	△ 16.7	△14.3
非製造業DI	△8.8	(△5.5)	△ 12.5	△3.8
卸売業	△14.8	(△13.0)	△ 12.5	△6.2
小売業	0.0	(5.4)	△ 12.5	0.0
建設業	0.0	(0.0)	0.0	0.0
サービス	0.0	(0.0)	0.0	0.0

● 図表2-7 在庫水準DI推移(24/Ⅰは見通し)



注)非製造業のうち、建設業、サービス業は対象外

[23年10~12月期]

○製造業

多くの業種で「過剰」超が続いたが、全体では「過剰」超幅は縮小した。

○非製造業

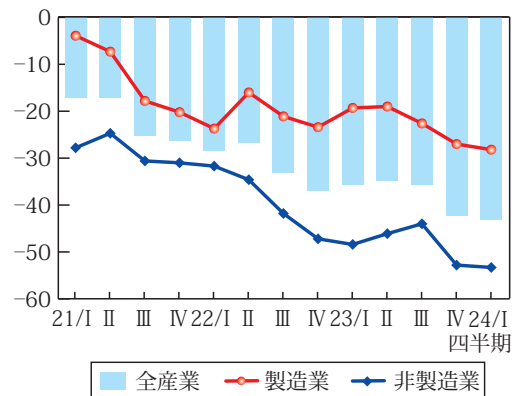
卸売業と小売業が「過剰」超となり、全体でも「過剰」超幅が拡大した。

(8)人員

～「不足」超が続く～

	23/Ⅲ	23/Ⅳ(10-12月)		24/Ⅰ
	実績	前回予測	実績	見通し
過剰	7.0	(4.9)	5.5	4.4
適正	50.4	(53.6)	46.7	48.1
不足	42.6	(41.5)	47.8	47.5
全産業DI	△35.6	(△36.6)	△ 42.3	△43.1
製造業DI	△22.6	(△25.6)	△ 27.0	△28.2
食料品	△40.0	(△40.0)	△ 52.4	△38.1
繊維	△33.3	(△50.0)	14.3	0.0
木材木製品	△12.5	(△12.5)	0.0	△25.0
窯業土石	△42.9	(△42.9)	△ 80.0	△80.0
電気機器	0.0	(△6.7)	0.0	△15.4
輸送機器	△17.4	(△26.1)	△ 16.7	△29.1
金属製品	△15.6	(△21.9)	△ 20.8	△16.6
一般機械	△6.6	(0.0)	△ 25.0	△18.7
その他	△33.4	(△33.3)	△ 35.8	△35.8
非製造業DI	△44.0	(△43.7)	△ 52.8	△53.3
卸売業	△27.7	(△29.6)	△ 35.4	△37.5
小売業	△50.0	(△47.3)	△ 46.9	△43.7
建設業	△54.6	(△56.1)	△ 62.9	△65.7
サービス	△43.6	(△41.6)	△ 56.9	△55.7

● 図表2-8 人員DI推移(24/Ⅰは見通し)



[23年10~12月期]

○製造業

繊維、木材木製品、電気機器を除く業種で「不足」超が続いた。全体でも「不足」超幅が拡大した。

○非製造業

全業種で「不足」超が続き、全体でも「不足」超幅が拡大した。
深刻な人員不足が続いている。

3. 経営上の問題点

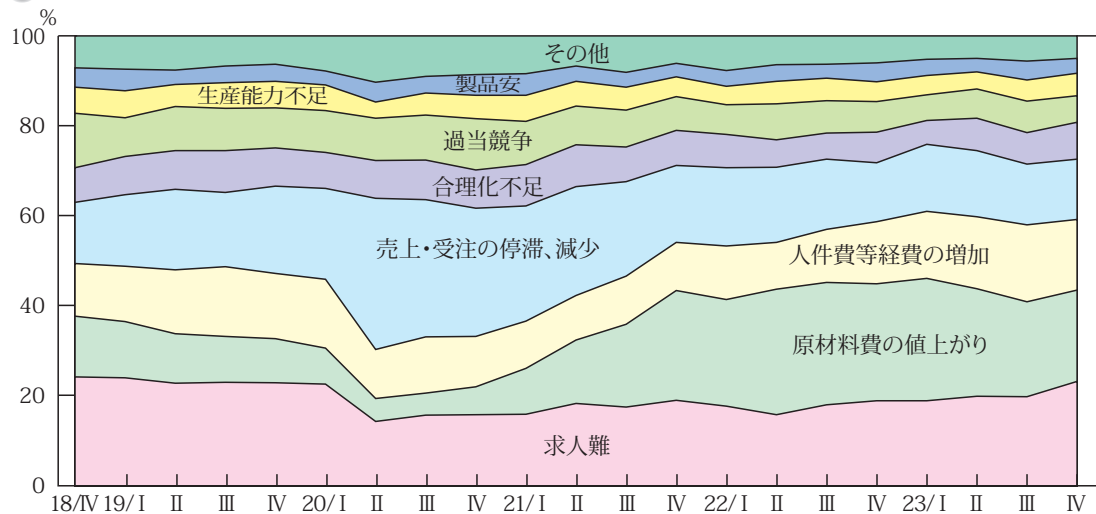
～増加が続く「求人難」が最多となった～

図表3-1 経営上の問題点

(単位：%)

項目	23年 7～9月期	23年 10～12月期	前期比増減	回答割合の高い業種
求人難	52.4	59.5	7.1	窯業土石、サービス業、建設業
原材料費の値上がり	55.9	52.0	△3.9	繊維、窯業土石、電気機器
人件費等経費の増加	45.3	40.2	△5.1	電気機器、食料品、小売業
売上・受注の停滞、減少	35.8	34.5	△1.3	窯業土石、繊維、電気機器
合理化不足	18.6	21.1	2.5	食料品、輸送機器、木材木製品
過当競争	18.6	15.1	△3.5	食料品、繊維、卸売業
生産能力不足	12.5	12.8	0.3	一般機械、電気機器、輸送機器

図表3-2 経営上の問題点(項目ごとの推移)



注：図表3-2の分母は、本項目（問題点）についての回答数（複数回答）合計。

経済活動の正常化に伴い、生産・販売が増加傾向にある中、「求人難」が、これまで最多であった「原材料費の値上がり」を上回り、経営上の問題点として最多となった。

次いで、「人件費等経費の増加」、「売上・受注の停滞、減少」の順となったが、いずれも減少した。